



# 松原かわら版

世帯数 1,174 戸  
人 口 3,036 人  
(平成 29.1.1 現在)

## 新年のごあいさつと

## 市政懇談会のご報告

町会連合会長 本田博志

新年明けましておめでとう  
ございます。旧年中は多くの  
場面で皆様方に大変お世話に  
なり、感謝申し上げます。

昨年は4月の熊本地震をは  
じめ日本各地で大地震・台風・  
大雨等の天災が数多く発生し、  
世界的には悲惨なテロが頻繁  
に起き、大変な年となりました。

一方、明るいお祭りごとの  
多い年でもありました。諏訪  
大社御柱祭をはじめ、8月に  
は日本の裏側ブラジル・リオ  
でスポーツの祭典オリンピック  
とパラリンピックが開催さ  
れました。そのオリンピック  
では数多くの感動ドラマを見  
て楽しみました。特に日本選  
手は個人の力では出来なく  
も、チームになると強いとい  
う印象を持ちました。

さて、昨年12月16日に、松  
原地区市政懇談会が松原地区  
公民館にて菅谷市長をお迎え

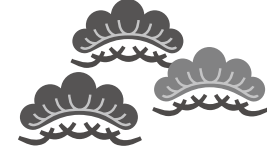
して開催されました。

寒い中出席した大勢の地区  
の方々に、市長から市政の取  
り組みについて大変分かり易  
く説明して頂き、これからの  
松本の姿について考える良い  
機会を得ました。

出席者も熱心にお話しを聞  
き、率直な意見・質問を発言  
し、市長から真摯なご回答が  
返され、和やかな雰囲気の中  
に意見交換されました。

「集約型都市構造※」にお  
ける松原地区の位置付けにつ  
いても市の考えを伺いました  
ところ、「都市機能誘導区域」  
として位置付け、都市機能や  
公共交通を維持・充実させて  
いく考えとのことでした。

また、市長はこれまでの松  
原地区の活発な地域づくり活  
動について高い評価をされて  
おり、市政運営の基礎となる  
のは地域づくり活動という認



識でした。この事から市と地  
域が一緒になって松本市を良  
くしていく必要があると考え  
させられました。

今年も西年です。松原地区  
もチーム松原の総和でこの一  
年間、地域づくりの空へ羽ば  
たいていきましよう。そして、  
皆様方の健康を祈念申し上げ  
ます。

### ※「集約型都市構造」

超少子高齢型人口減少社会  
にむけて、中心市街地の機能  
強化と、中心市街地と郊外拠  
点との間の公共交通を充実さ  
せることで進める、持続可能  
でコンパクトな都市のかたち

### 女性たちは 善光寺をめざした

松原地区人権啓発推進協議会  
会長 下村 純

自動車や電車などの交通  
機関が発達する前の一般庶  
民にとって、旅行は時間も  
お金も、そして体力も必要  
であり、一世一代のビッグ  
イベントでした。特に江戸  
時代の女性は、入り鉄砲に  
出女と言われるように、厳  
しくその移動が制限されて  
いました。関所で検められ  
る手形も男性用と女性用で  
は異なっており、女手形は  
簡単には発行して貰えない  
うえに、髪形や容姿、着物  
の柄までも記載されていま  
した。そのため、関所を通  
過するときは、いつも同じ  
着物に着替える必要があ  
り、持ち物や目的も厳しく

チェックされました。  
では、なぜ女性たちはそ  
んな大変な思いをしてまで  
善光寺に行ったのでしょうか。  
当時の神社仏閣は基本  
的に女性の参拝を許してい  
なかつた中、善光寺はすべ  
ての人々に平等に信仰の自  
由を与え参拝を許していま  
した。それが多くの人々、  
特に女性からの高い支持を  
得て一生に一度は訪れてみ  
たいところとなったのです。

今回の地区人権啓発推進  
協議会の3回の研修は、①  
歴史学者の話聞き、②実  
際に善光寺につながる旧街  
道の一部を歩き、③最後に  
善光寺を訪れました。参加  
された方々には、当時の女  
性の厳しい状況と、そんな  
中でも希望を持った生き方  
をした女性たちに、現在の  
私たちにも通じる何かを感  
じて頂けたのではないでしょ  
うか。



① 講座



② 青柳宿～姨捨



③ 善光寺

# 年末年始の伝統行事

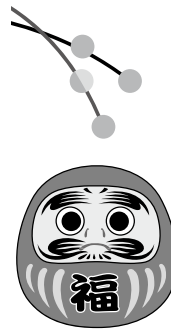
## ひめ縄・三九郎

松原地区子ども会育成会が中心となり、今年もしめ縄づくりや三九郎が行われました。当日は地域の皆さんのご理解とご協力のもと、盛大に執り行うことができました。

年末年始の伝統行事を地域で大切にしていきたいですね。



今年は無口ウイルス等が流行っていることから、まゆ玉づくりは中止となりました。子どもたちには団子玉を配布し、それぞれの家でまゆの形を作ってもらいました。朝早くから準備いただいた育成会の皆さん、夜遅くまで対応いただいた消防団の皆さんお疲れ様でした。



点火



炎天高く



### 地区民生児童委員 新任紹介

昨年12月から新たに委員に  
られた皆さんをご紹介します。  
3年間よろしくお願ひします。

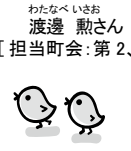


みやま えつこ  
宮下 悦子さん  
【担当町会：第4、5】

めぐろ ひろし  
会長 目黒 弘さん【留任】  
【担当町会：第1】



たかはし たかお  
高橋 隆雄さん  
【担当町会：第6、7】



わたなべ いさお  
渡邊 敷さん  
【担当町会：第2、3】



さいとう りょう  
齋藤 祝子さん  
【主任児童委員】

### 出来事

11月13日

#### ◆ニユースポーツ体験会

体協・スポーツ推進員・健康づくり推進員の共催。今回も老若男女みんなが、軽スポーツの体験と体力測定を行いました。

12月1日

#### ◆音の花東コンサート

内田・寿台・松原の3公民館で共催し、明善中学校生徒の地



#### ◆新そばふるまい会

12月2日  
すっかり恒例行事となりました。今年も地域の皆さんが日頃のそば打ちの成果を披露し、約80名がその味を楽しみました。

### コラム 北の旅人

今年もインフルエンザシーズンが到来しました。インフルエンザにかからない為に手洗いやうがいを中心掛けている方も多いと思います。予防接種をしたからと言って、安心はできません。

インフルエンザに関して興味深い記事がありましたので紹介します。

息の吸い方でインフルエンザにかかりやすいか関係しているそうです。鼻呼吸であれば鼻毛や鼻腔の粘膜がフィルターになり、吸い込んだ空気中のウイルスや雑菌等をろ過し体内への侵入を防いでくれます。しかし、口呼吸をするとフィルターターの役割をするものが無いので、鼻呼吸をしている人と比べて、インフルエンザにかかりやすくなってしまう。インフルエンザ対策には、手洗い・睡眠・栄養等が注目されていますが、鼻呼吸で予防をするのもいいかもしれませんね。この冬はインフルエンザにかからないように、体調管理に気をつけて乗り切りたいと思います。